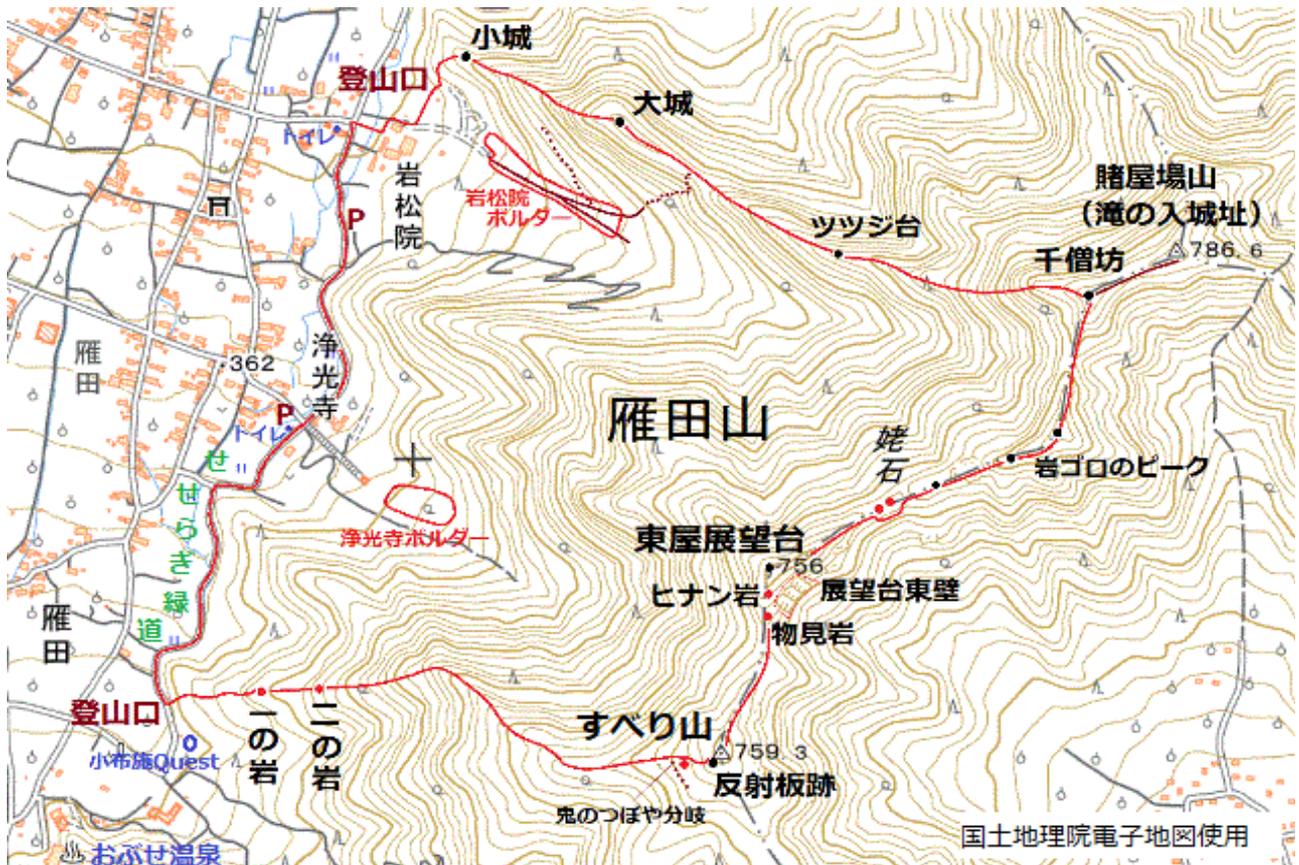


## 信州小布施 雁田山ボルダリング・サーキット

20220424 RCT/K

北信州の小さな自治体である小布施町は、葛飾北斎の描いた天井画「八方睨み鳳凰」や小林一茶が句を詠んだ「蛙合戦の池」のある岩松院、重要文化財「薬師堂」のある浄光寺、画家であり思想家であった高井鴻山の資料を集めた「高井鴻山記念館」、北斎の肉筆画を集めた「北斎館」などの見どころの多い文化歴史の町である。また、果樹園も多く、フルーツ生産や小布施栗から作られる栗菓子でも有名な地でもある。さらに、近年盛んになってきたスラックラインやグランピング、スノーボードの練習施設、ボルダリングジムなどもあり、様々な観光と若者に人気の遊びの環境が整っていることも特筆すべきことである。

雁田山周辺のボルダーエリアについては、以前、「岩松院ボルダー」と「浄光寺ボルダー」を紹介したが、今回はもう少し視野を広げて、ハイキングコース(雁田山自然探勝路)に沿って散在するボルダーを楽しむ「雁田山ボルダリング・サーキット」と私が呼んでいるエリアを紹介する。



「雁田山ボルダリング・サーキット」は、雁田山を周回するハイキングコースに散在する数々の大小様々なボルダーをトライすると同時に、ハイキング、展望、山城址、動植物など、自然に触れあい、歴史的遺構などを見ながら、山全体の雰囲気を一日かけて楽しんで来れるコースである。

岩質は安山岩(溶結凝灰岩?)、課題はスラブから前傾フェイス、ハングと様々、ハイキングコースの周囲にあるため傾斜地にあるボルダーも多いが、山を登りながらのボルダリングであり、大きなクラッシュパッドの持参は想定していないので、下地が悪いボルダーのトライは無理をしない方がよい。

持ち物は、靴、チョーク、ブラシ、ザックに収まる小さなマット程度、それに飲み物、昼食&間食、雨具他を併せてもさほど重荷にはならない。

シーズンは春から秋で、冬季は積雪がある上に寒風も強いため、なかなか融けずボルダリングは不可能である。夏は標高が低いため暑いのでお勧めはしない。

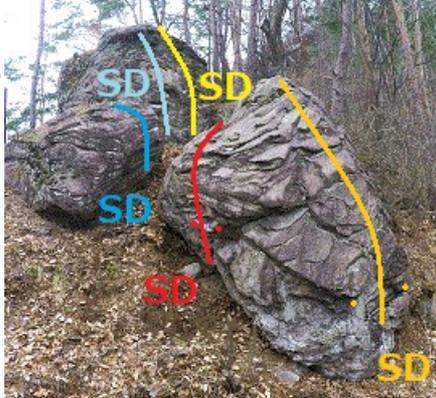
駐車に関しては、岩松院の広い南駐車場に置くのが観光客の迷惑にならない上に、多くの登山者も置いているので無難である。スタートは、どちらの登山口から入るかは好み次第だが、千僧

坊手前の急登がきついで、スノボ練習場「小布施 Quest」近くの登山口から入り、岩松院に下山するコースを勧めたい。

<課題紹介> (一の岩から左回りに、コースに沿って順番に紹介)

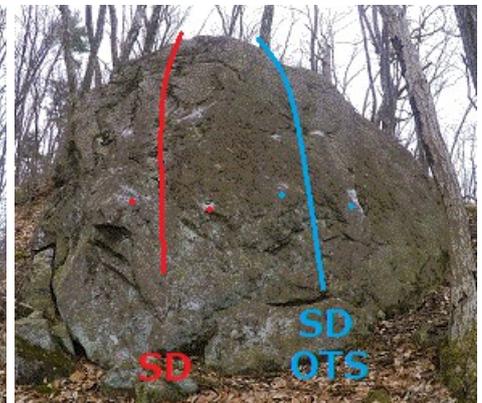
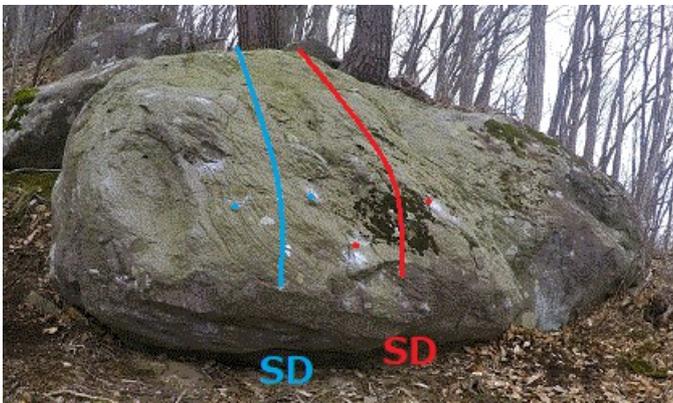
■すべり山西尾根(一の岩からすべり山・反射板跡)

●上段左:一の岩  
一番奥が一の岩。  
課題は易しいが  
ウォーミングアップ  
位にはなる。



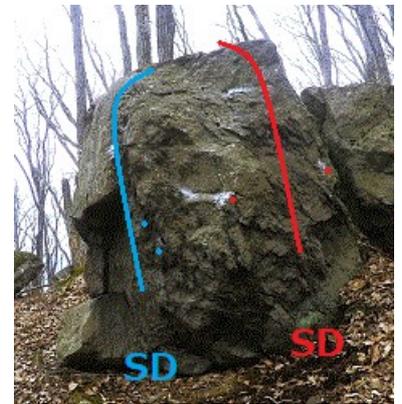
●上段右:一の岩  
の先の岩  
超易しい課題。

●中段  
左:二の  
岩から急  
登を登り、  
傾斜が落  
ちた先に  
ある岩  
高さはな  
いが横長  
の岩。ス  
タートでちょっと力が要る。



●中段右:さらにその先の尾根の北側7から8m位の所にある岩  
易しいスラブ状フェイスの岩。

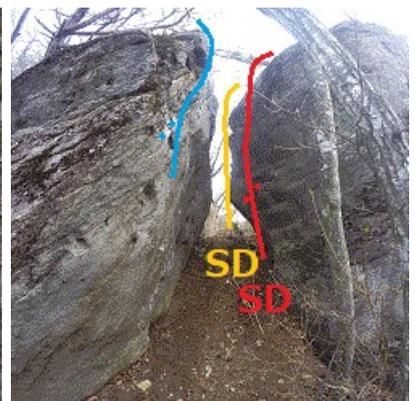
●下段:鬼のつぼやの分岐にある岩  
ホールド多く易しい。



■物見岩周辺

●左:鞍部の左側にある苔の多い  
岩

●右:物見岩  
左の岩はSDスタートができず穴  
の左側からバンド状を右上。  
右の岩赤ラインは穴を使い直上  
するが、抜け口のホールドが分か  
りにくい。  
オレンジラインはカンテライン。



●左:物見岩の少し上にある岩



●右:ヒナン岩  
展望園地少し手前にある  
下がハングした岩。



### ■姥石から岩ゴロピーク

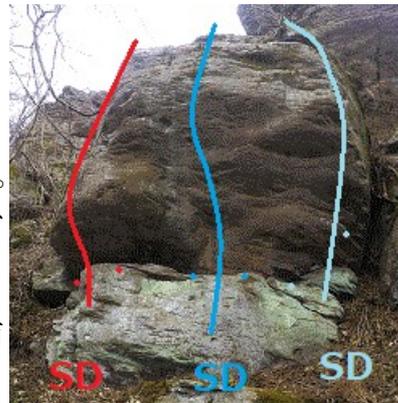
●上段左:姥石(南の岩峰)  
高さがあり、下地もさほど良くないので、  
トライは無理をしない方が良いでしょう。



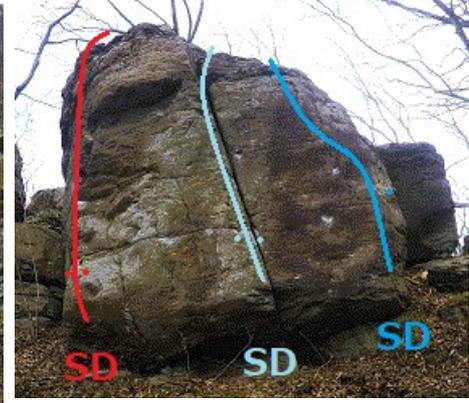
●上段右:姥石(南北の岩峰)の間にある  
岩南側のハング



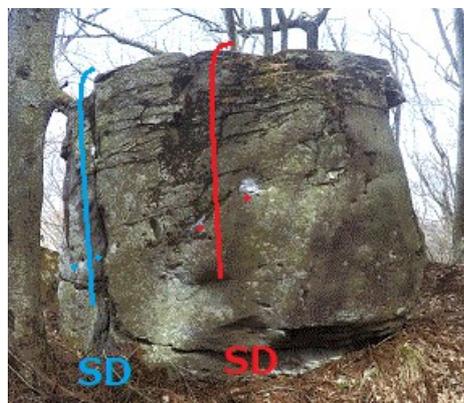
●中段左:姥石(北の岩峰)の下(東側)  
にある岩  
下の岩からSDスタートだが易しい。



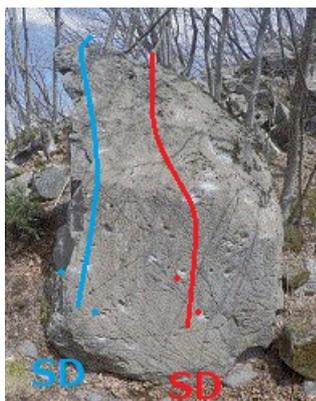
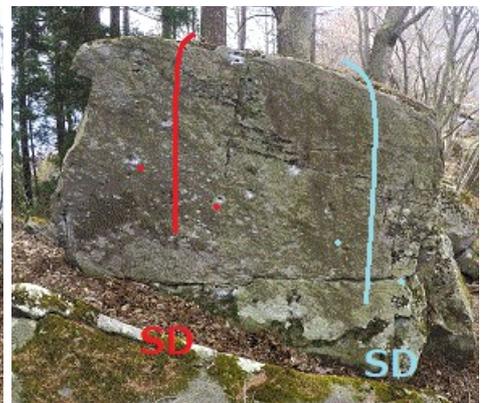
●中段右:その先にあるクラック  
の入った岩  
赤ラインはスタートで次のガバ  
までが遠いが、その上は易しい。  
水色ラインのクラックはスタート  
で身体を上げるのが核心。



●下段左:少し先の箱型の岩南  
面

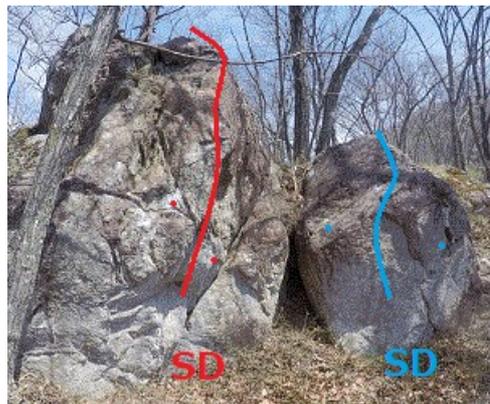


●下段中央:箱型の岩の  
北面

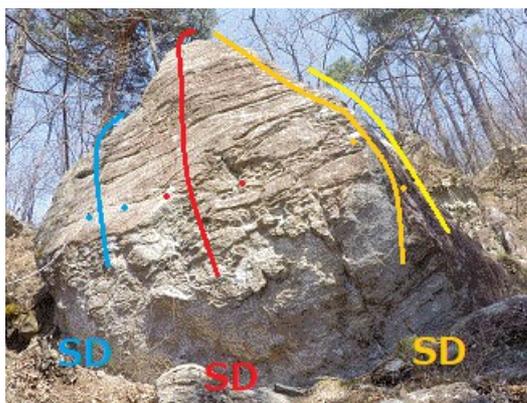


●左:岩ゴロピークへの登り口にある烏帽子型の岩  
青ラインはカンテライン。  
赤ラインは下の穴からSDスタート。すっきりしたフェイスで面白い。

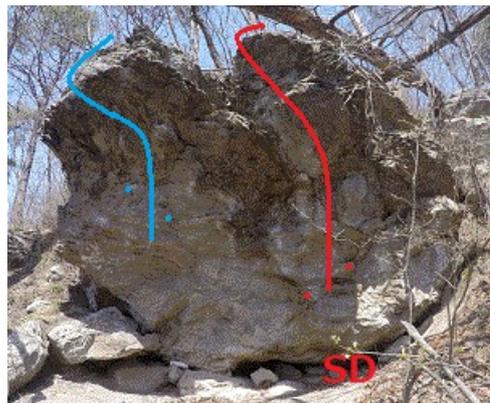
## ■ツツジ台周辺



●上段左:登山道の北側にある尖った岩  
SD スタートしたかったが、できず。



●上段中央:南側の丸っこい岩  
下地が悪いのでお勧めしない。



●上段右:ツツジ台の標識の少し下にある2つ並んだ岩。

●下段左:大きなおにぎり型の岩

細かなカチのフェイスで面白いが、ちょっと下地が狭くて不安定。登山道の南斜面にあり分かりにくい。

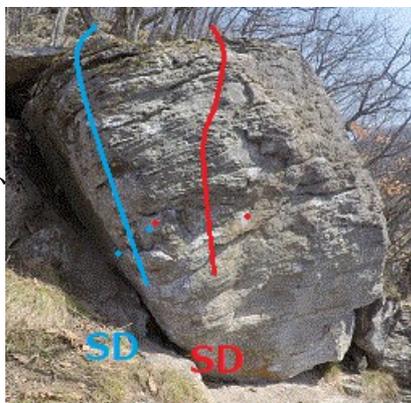
●下段右:上が少しルーフ状のハングした岩

少し高さがあり、見た目は良いが、下部のスタート部分がちょっと脆いので注意を要する。この岩も登山道の南斜面にあり分かりにくい。

## ■大城小城周辺

●左:大城から下る途中の岩場の南側にある岩。

岩の右側の方は、上から落ちると岩場から転げ落ちそうなのでトライしない方が良い。



●右:もう少し下った所のテーブル状の小さなルーフ。見た目は良いが易しい。上から下ってくると見落としやすい。

●さらに下って、南斜面にある岩

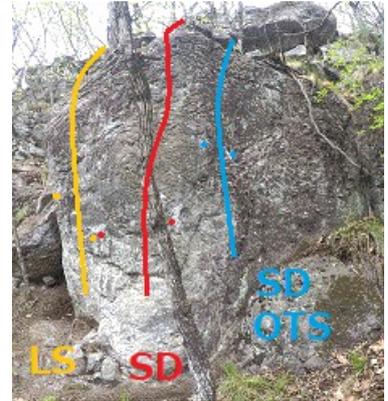
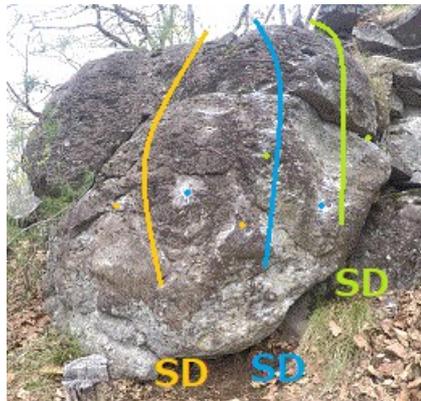
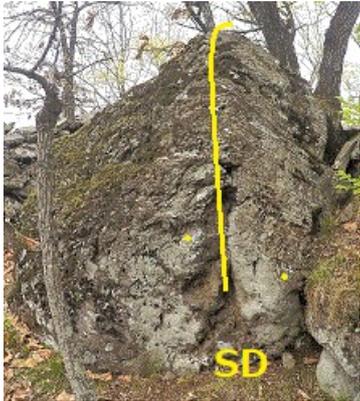
同じような岩が沢山あるので分かりにくいので、尾根の岩の上から確認して降りた方が良い。上から見ると岩の上が平になっているので判別できる。

青ラインのスタート右手は右のカンテを使う。



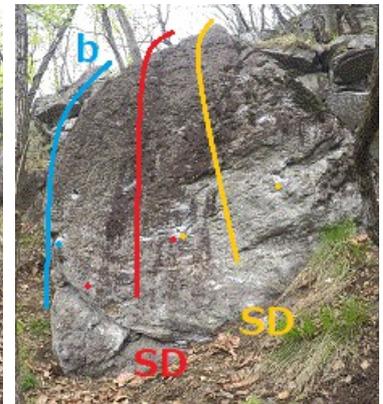
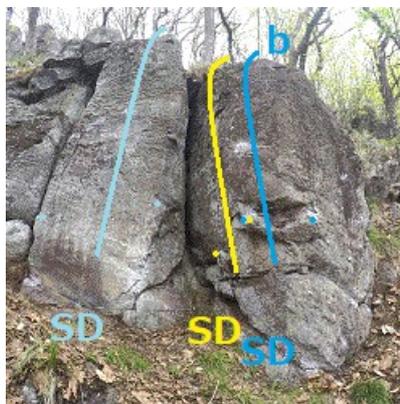
●小城から南斜面を水平トラヴァースしていくとある岩

小城側から順番に、上段左、中央、右、下段(左右)となる。



岩松院から近く、明るく下地も良いので、課題は易しいが、ここだけをちょっと気晴らしにトライしに行くのも良いかも。

特に限定はないが、スタートで足元のフットホールドになる岩を限定すると厳しくなりそう。



●駐車場上の荒れ地の岩 左: 駐車場側 右: 山側

岩松院の駐車場からよく見える所にある2m弱の板状の岩で、ちょっと遊べるが夏季は暑そうで雑草も茂りそう。

全てSDスタートで赤ラインと青ラインがムーヴ的に面白い。

オレンジラインの右のフェイスは未解決。

